

宋鮑女宗

【女宗】校注王命錄曰、賢當是婦孺之類也。
【醜態】ハウツ 伝記未詳。
【賂遺】ロウ 賂は、金品を贈ること。
【姒】シ、女部五画 あね。
【夫人既有所好】婦人、即其夫也。所好、謂外妻。
【醜不改】校注醜、醜特性、奇異之所、終身不改。注、齊、或爲醜。醜セウ、西語一三画 婦礼の歪を挙げる事。
【飲酒家治絲繭】校注組紉【補注】三句本、禮記内則文、皆婦人所、有事。
【醜】マシ あま。麻は大麻、泉は大麻の雄株、束をつけない。
【絲繭】シケン きぬ糸とまゆ。醜、糸部一三画
【姒】シシ はた糸。【醜】シシ まる紐。
【醜酒】醜酒、醜、淫也。淫、淫也。言、淫、淫汲水也。すなわち、きれいな水と醜酒をそなえる意か。醜、西語一三画
【進飲食】補注、進也。飲食、熟食也。醜、糸部一三画
【淫意】みだりがましい心。夫の愛憎を独断することと指している。
【扼】ヤク、手部四画
【醜】校注、白虎通義、嫁娶章、天子諸侯、一娶、九女。或曰、天子娶、十二女、卿大夫二妻、士一妻一妾。
【七見去】見は、受身の助字。ハ参考
【夫無一去義】夫に対して妻の側から離縁を求め、道理は一つもない、の意。
【姒】トシ 姒、婦部一画
【淫僻】インヘキ 僻、日部一画
【無子】あとなつぎの男子ができないこと。
【居室】あとのこと。
【表其閭】善行を表彰した木札を町の門にかけて衆人に示すこと。閭、門部七画
【威】威、とくによび名を授けること。
【詩云】詩経、大雅、蒸民篇、「儀を令くし色を令くし、小心翼たり。故訓にこれ式り、威儀にこれ力む」
【令】鄭箋、善也。善、威儀。
【表】表、集伝、恭敬貌。
【故訓】鄭箋、先王之遺典也。
【式】鄭箋、法也。【力】猶、勸也。
【閭】表、【稱】一、稱、一、稱

女宗者、宋鮑蘇之妻也。養姑甚謹。鮑蘇仕衛三年、而娶外妻。女宗養姑愈敬。因往來者、請問其夫、賂遺外妻甚厚。女宗姒謂曰、可以去矣。女宗曰、何故。姒曰、夫人既有所好。子何留乎。女宗曰、婦人一醜不改、夫死不嫁。執麻枲、治絲繭、織紵組紉、以供衣服、以事夫室。徹酒醴、羞饋食、以事舅姑。以專一爲貞、以善從爲順。貞順婦人之至行也。豈以專夫室之愛爲善哉。若其以淫意爲心、而扼夫室之好、吾未知其善也。夫禮、天子十二、諸侯九、卿大夫三、士二。今吾夫誠士也。有二、不亦宜乎。且婦人有七見去、夫無一去義。七去之道、妒正爲首、淫僻・竊盜・長舌・驕侮・無子・惡病、皆在其後。吾姒不教、吾以居室之禮、而反欲使吾爲見棄之行。將安所用此。遂不聽、事姑愈謹。宋公聞之、表其閭、號曰女宗。君子謂、女宗謙而知禮。詩云、令儀令色、小心翼翼。故訓是式、威儀是力。此之謂也。頌曰、宋鮑女宗、好禮知理。夫有外妻、不爲變己。稱引婦道、不聽其姒。宋公賢之、表其閭里。

〈参考〉『大戴禮記』本命篇

婦有七去。不順父母去、無子去、淫去、妬去、有惡疾去、多言去、竊盜去。
婦有三不去。有所取無所歸不去、與更三年喪不去、前貧賤後富貴不去。